

知えのなしい！

ニッポンの ドリル しゅくだい

- 001 はじめに
- 002 このドリルを手にしたみなさんへ
- 003 未来にスマイル!! ミライカくん
- 006 このドリルの使い方
- 007 問題スタート
- 020 資格について
- 027 おわりに

ドリルを
と解いてくれる
みんなへ!!

ニッポンの宿題を、やっつけよう。



教科書には書いていないし、ましてやテストにだって出ない。
だけどわたしたちには、すぐにやらなきゃいけない宿題がある。
それは、お年寄りや小さな子どもを守る仕組みをつくったり、
心や体にハンディキャップがある人たちとなかよく暮らす
知識を持つことで解決できる。

今はまだ自分に関係があると思えないかもしれない。
知らないふりをしたって、だれにもしかられないと思う。
でも。

人間の寿命はどんだんのびていく。100年生きる時代がやってくる。

40年すれば親は高れい者になるし、
私たちだってケガや病気をすれば人の助けがひつようになる。
ほら、気づいたでしょう。

ぜんぶわたしたちの未来につながっている宿題だ。
さあみんなでアイデアを出して、実験をして、カタチにしよう。
変えていこう、みんなが笑顔でいられる未来に。
今からはじめなくちゃ、間に合わないよ。
宿題のしめきりは、わたしたちが大人になる前。

おおさかにんげんかがく みらい か
大阪人間科学大学 未来科プロジェクト

このドリルを手にした大人のみなさんへ

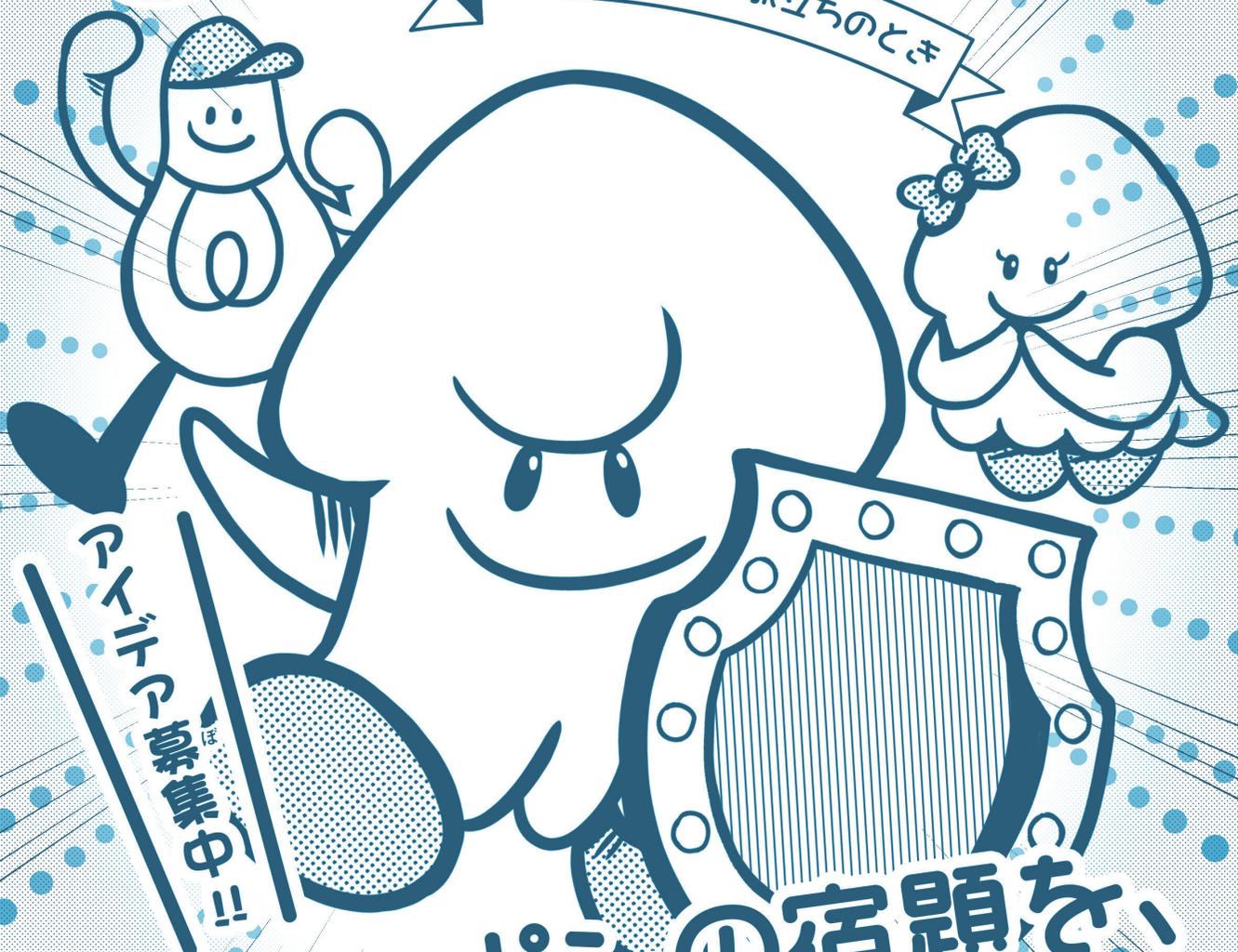
少子高齢化、介護人材不足など、連日様々な社会課題がメディアで報じられています。あの手、この手の対策が取られているものの、残念ながら、未だ根本的な解決にまでは至っていません。このままでは私たちの世代というよりも、むしろ、次の時代を生きる子どもたちの未来に不安を持ち越してしまいます。本書は子どもたちが世の中にある社会課題に触れ、どんな人が困っているのか、どんな解決策があるのかを自由に、前向きに議論する機会をつくることを目的としています。「ニッポンのしゅくだいドリル」を解き進めることで、現在の社会課題に触れ、理解し、困っている人に手を差し伸べ、支え合い、誰もが豊かに暮らしていくことのできる未来をつくる力を身につけてもらいたいと願っています。



未来にスマイル!!

スマイルくん

第1話 いざイかん!! 旅立ちのとき



アイディア募集中!!

ニッポンの宿題を、
やっつけよう!

ワタシは
みんなにヒントを
プレゼントする
ミライトくん！
キミたちにも
ヒントをあげよう！

キミの盾を
完ぺきにする
ためにみんなから
アイデアを
もらったら
どうでシヨウ

ミライトくん

ス：スゴイ！
みんなのアイデアを
カタチにしたら
強力な盾ができた
じゃなイカ！

こうして
みんなを笑顔に
するために冒険に出る
ミライちゃんと
イカミちゃんであった：

まだまだ
宿題は
いっぱいあるヨ
こまっている
ヒトを見つけたら
みんなから
アイデアを
もらおう

がんばるぞ！

がんばるぞ！

Eh

■ キミのアイデア待ってるぜ！

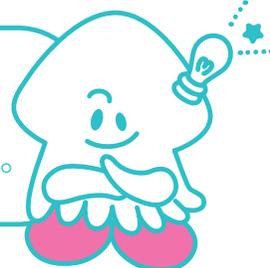
このドリルの使い方

Q1. こまりごとにつながった
問題をさがそう。

見つけたら黄色い線でしるしをつけておくと
あとでアイデアが出しやすいぞ。



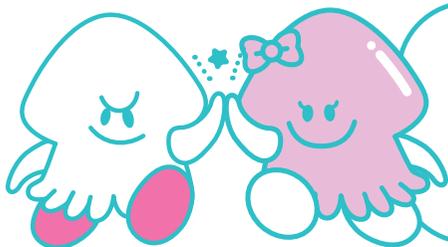
Q2. 線を引いた問題の中から、
かいつ 解決できそうなものをひとつえらぼう。



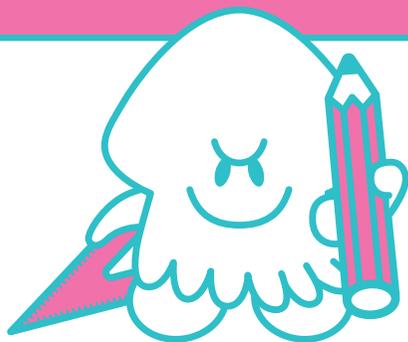
Q3. さあよいよアイデアを出してみよう。
かいつ 問題を解決するために、自由に考えよう。
文章でも、絵でも、どちらでもだいじょうぶだ。



Q4. できあがったら、
そのアイデアのタイトルと
とくちょう 特徴も書いてね。



問題スタート





1

若い世代の運動不足



23才のAさんは、大学を卒業してひとり暮らしをはじめました。毎日つかれて家に帰るとごはんをつくる気持ちにはなれず、コンビニエンスストアのお弁当で食事をすませるようになりました。さらに、毎日の運動不足により、1年ほどすると何だかはだの調子が悪くなった気がします。スポーツジムに通うのはめんどろだし、大学のときのように運動に参加する機会もないので、このような生活をしているといつか病気になってしまいそうです。ひとりで暮らして、仕事のいそがしいAさんが運動不足を解消し、健康であり続けるにはどのようにしたらよいのでしょうか。アイデアを出してみましよう。

- 1 今回のこまりごとにつながった問題に黄色いスミで線を引いてみよう！
問題はひとつじゃないかも…



ミライカ56

未来のことを考えてふだんから運動をしようじゃないか！



運動不足が**つづく**と病気になる**可能性**が高くなるぞ。

- 2 黄色いスミで線を引いた中からアイデアを考える問題を選ぼう！

③ 問題を解決する自由なアイデアを盾にえがこうじゃないか！

タイトル

④ アイデアの特徴を教えてくださいなイカ？



ミライトくんのアイデア

- ・会社に行くときに、1駅歩きたくなるような工夫をしてみてもどうだろうか。
- ・働く人の健康のために職場ができることはないだろうか。

こまったら
接点カードも
チェックしてね！



2 限界集落と買い物



暮らしている人の半分以上が65才をこえる「限界集落」で暮らすAさんは、80才をすぎたところから、シルバーカーがないと出かけられなくなりました。ある日の夕方、れいぞうこを開けると夕飯の材料がないことに気づきます。この町はいなかの山おくでスーパーがないため、となり町まで1時間以上かけて行くしかありません。しかしAさんにとってそれはとてもむずかしいことです。お手つだいをしてくれる若者が少なく、お店もあまりない町で、お年寄りが買い物にこまらないようにするためのアイデアを考えましょう。

- 1 今回のこまりごとにつながった問題に黄色いスミで線を引いてみよう！
問題はひとつじゃないかも…



ミライカ56

お年寄りが多い町にひつようなものを考えてみようじゃないカ！



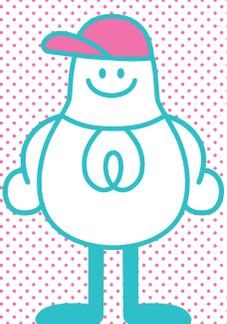
人口の半分以上が65才以上のお年寄りになり、お祭りなどの行事をすることがむずかしくなっている地いきのことを限界集落というんだ。

- 2 黄色いスミで線を引いた中からアイデアを考える問題を選ぼう！

③ 問題を解決する自由なアイデアを盾にえがこうじゃないか!

タイトル

④ アイデアの特徴を教えてくださいなイカ?



ミライトくんのアイデア

- ・ 配たつサービスを活用するのはどうだろう。
- ・ 移動販売をしてくれる会社をさがしてみるのはどうだろう。

こまったら
接点カードも
チェックしてね!



3 かいごよぼう 介護予防



70才のAさんは毎朝犬のさんぽをするのが楽しみでしたが、最近、足腰が弱ってきたせいで長いきよりを歩くことができなくなってしまいました。また、自分でたてたこの家が大すきなのですが、段差が多かったり、ねる場所が2階にあったりするため、足への負担が大きくなっています。このままでは元気もなくなってしまいそうです。これ以上できないことをふやしたくないと思っているAさんのために何ができるでしょう。アイデアを出してみましょう。

- 1 今回のこまりごとにつながった問題に黄色いスミで線を引いてみよう！
問題はひとつじゃないかも…



ミライカ56

お年寄りが暮らしやすい家や町をイメージしてみようじゃないか！

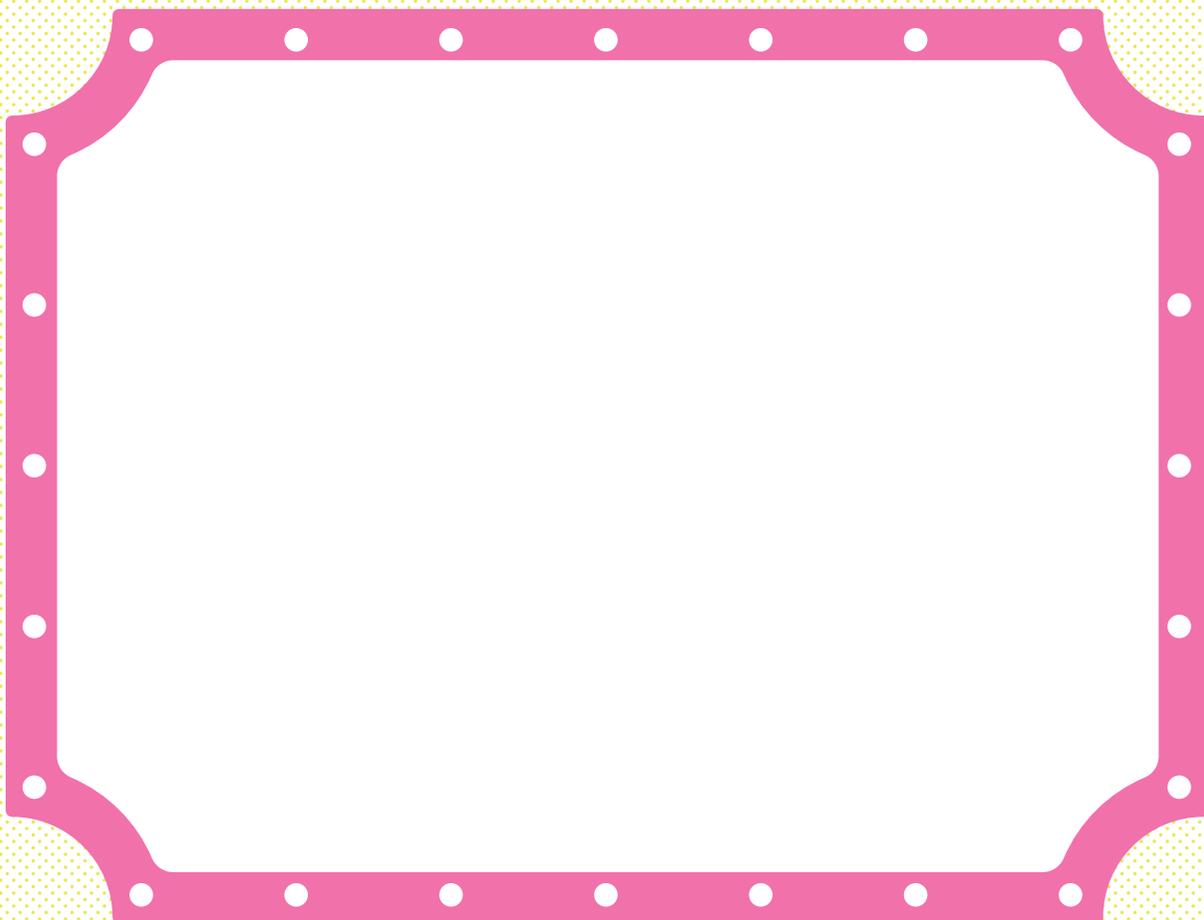


お年寄りや病気などが原因でひとりで生活できない人の
お手つだいをすることを介護というんだ。

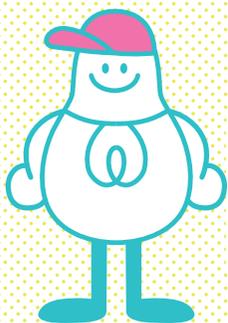
- 2 黄色いスミで線を引いた中からアイデアを考える問題を選ぼう！

③ 問題を解決する自由なアイデアを盾にえがこうじゃないか!

タイトル



④ アイデアの特徴を教えてくださいなイカ?



ミライトくんのアイデア

- ・家の使い方をかえてみてはどうだろう。
- ・新しいしゅみを見つける仕組みがあればどうだろう。

こまったら
せってん
接点カードも
チェックしてね!



4 地いきのまちづくり



お年寄りの多い町でひとり暮らしをしている80才のAさんは、病気で片方の足が不自由になり杖を使っています。遠くまで買い物に出かけるのはとてもたいへんで、段差やデコボコがある道は歩くことができません。そのおかげで、最近では外出する機会もなくなり、地いきの人と交流しなくなりました。でもその一方で、何かこまったことがあったとき、だれに、どうやって相談をすればいいか不安になってきました。Aさんがこの町で安心して住み続けるためにはどのようなまちづくりをすればよいでしょうか。アイデアを出してみましょう。

- 1 今回のこまりごとにつながった問題に黄色いスミで線を引いてみよう！
問題はひとつじゃないかも…



ミライカ56

デザインはモノだけじゃないぞ！人の気持ちもデザインしてみようじゃないか！



文化、言語、国籍、年齢、性別などのちがいや障がいの有無や能力の差を問わずに、だれもが使うことができることを目指すユニバーサルデザインという考え方が広がっているんだ。

- 2 黄色いスミで線を引いた中からアイデアを考える問題を選ぼう！

③ 問題を解決する自由なアイデアを盾にえがこうじゃなイカ!

タイトル

④ アイデアの特徴を教えてくださいなイカ?



ミライトくんのアイデア

- ・みんながなかよくできるようにお祭りのようなイベントをやってみるのはどうだろう。
- ・お年寄りに暮らしやすい町について質問するのはどうだろう。

こまったら
接点カードも
チェックしてね!



5 外で遊べる場所がない



小学4年生のAさんは外で遊ぶことが大好きです。ある日の放課後、なかよしのお友だちといっしょに近所の公園でサッカーをしていると、近くを通ったおじいちゃんに「ここでボール遊びをしたらダメだぞ!」としかられてしまいました。たしかに、公園のかんばんに【ボール遊び禁止!】と書いてあります。まわりに小さな子どももいないし、安全に気をつけていたので、ちょっと落ちこんでしまいました。べつの公園に移動してみんなでサッカーをしようとしたのですが、せまくて思いきり走ることができず、結局、「つまらないね」とバイバイしてしまいました。Aさんたちはどうしたら楽しく遊ぶことができるか、アイデアを出してみましょ。

- 1 今回のこまりごとにつながった問題に黄色いスミで線を引いてみよう!
問題はひとつじゃないかも…



ミライカ^ゴ56^{ロク}

子どもたちが思いきり遊ぶことのできる場所をつくってみなイカ?



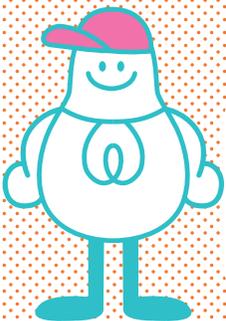
ボールが当たってケガをしたらあぶない、という人の意見を取り入れて、野球やサッカーをしてはいけない公園があるんだ。

- 2 黄色いスミで線を引いた中からアイデアを考える問題を選ぼう!

③ 問題を解決する自由なアイデアを盾にえがこうじゃないか！

タイトル

④ アイデアの特徴を教えてくださいなイカ？



ミライトくんのアイデア

- ・禁止するんじゃなくて、ゆずり合う方法を考えてみてはどうだろう。
- ・ボール遊びをしてもあぶなくないやり方をさがしてみるのはどうだろう。

こまったら
せってん
接点カードも
チェックしてね！



エスエヌエス

SNSのコミュニケーション



中学生になってスマートフォンを買ってもらった A さんは、SNS^{エスエヌエス}を使ってお友だちとれんらくを取ることがふえました。ところがしばらくすると返信がなかったり、既読^{きどく}がつかなかったりするだけで、自分が無視^{むし}されているのではないかと不安な気持ちになることが多くなりました。それでも人とお話しすることがあまり得意^{とくい}ではない A さんは、お友だちに直せつ話しかけて理由を聞くことができません。このもやもやした気持ちをなくし、お友だちなかよくするためのアイデアを出してみましょう。

- ① 今回のこまりごとにつながった問題に黄色いスミで線を引いてみよう！
問題はひとつじゃないかも…



ミライカ^{ミロク}56

エスエヌエス

SNSを使えば、世界中の人たちとつながれるのではなイカ。



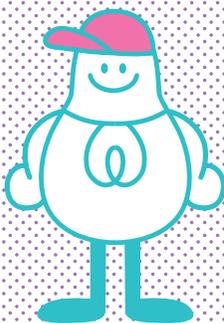
インターネットサービスを使って、世界中のいろいろな人とコミュニケーションを取ることのできるサービスのことを SNS^{エスエヌエス}というんだ。

- ② 黄色いスミで線を引いた中からアイデアを考える問題を選ぼう！

③ 問題を解決する自由なアイデアを盾にえがこうじゃないか！

タイトル

④ アイデアの特徴を教えてくださいなイカ？



ミライトくんのアイデア

- ・お友だちとの SNS の使い方の新しいルールを決めてはどうだろう。
- ・ SNS でのこまりごとをみんなで解決する相談所をつくってみてはどうだろう。

こまったら
接点カードも
チェックしてね！



Q1. 介護福祉士ってなあに？

介護福祉士は、高^{たか}れい者^{しや}や障^{しょう}がいのある人^{ひと}など、手^て助けがひつような人^{ひと}を心^{こころ}や体^{てい}の状況^{じやうきやう}におうじてささえる国家^{こくが}資格^{しやうかく}です。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

思い通り^{おもいどおり}に動^{うご}いたりコ^こミュニケー^{けー}ションを取^とることができず、食^{しょく}事^じや買^かい物^{ぶつ}、外^{がい}出^{しゅつ}などの日^{にち}常^{じやう}生^{せい}活^{かつ}で不^ふ自^じ由^{ゆう}を感じ^{かん}じている人^{ひと}に對^{たい}して、ひ^ひと^とり^りでい^いろ^ろい^いろ^ろなこ^ことがで^でき^きるよ^よう^うにな^なっ^って^ても^もら^らた^たり、自^じ分^{ぶん}ら^らしくい^いき^きい^いきと暮^くら^らし^してい^いくこ^ことがで^でき^きるよ^ような手^て助^{すけ}けを^をし^しま^ます。

Q3. どんなことがひつようなの？

生^{せい}活^{かつ}を手^て助^{すけ}けすた^ため^めの介^{かい}護^ごぎ^ぎじ^じゆ^ゆつやコ^こミュニケー^{けー}ション能^{のう}力^{りよく}に医^いり^りよ^ようの知^ち識^{しき}、そ^そし^して、こ^こま^まっ^って^てい^いる人^{ひと}々^々の生^{せい}活^{かつ}がよ^よりよ^よく^くな^なるた^ため^めの工^く夫^{ふう}がひ^ひつよ^よう^うにな^なり^りま^ます。ま^また、介^{かい}護^ごはひ^ひと^とり^りだ^だけ^けで^でな^なくチ^ちー^ーム^むで^で行^いうこ^ことが^が多^たい^いので、チ^ちー^ーム^むを^をま^まと^とめ^めるリ^りー^ーダ^だー^ーシ^しッ^ップ^ぷも身^みにつ^つけ^けな^なけ^けれ^れば^ばな^なり^りま^ませ^せん。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

人^{ひと}に興^{きやう}味^みを持^もつこ^ことが^がで^でき^きる人^{ひと}、人^{ひと}の暮^くら^らしに興^{きやう}味^みが^が持^もてる人^{ひと}、人^{ひと}の気^き持^{もち}ちを理^り解^{かい}で^でき^きる心^{こころ}がゆ^ゆた^たか^かな人^{ひと}、学^{がく}ぶこ^ことが^がす^すき^きな人^{ひと}に^に向^{むか}い^いて^てい^いま^ます。で^でも何^{なに}も^も大^{だい}事^じな^なのは、^{しょうらい} 介^{かい}護^ごの^{しょうらい} プロ^{ぷろ}フェ^ふッ^ッシ^しョ^ョナ^なル^ると^として、人^{ひと}の手^て助^{すけ}けを^をし^したい^いと強^{きやう}く^く思^しう^う気^き持^{もち}ち^ちです。
介^{かい}護^ご福^ふ祉^し士^しは超^{ちやう}高^{こう}れ^れい^い社^{しゃ}会^{かい}の中^{ちゆう}で^で人^{ひと}数^{すう}が^が不^ふ足^{そく}して^てい^いるた^ため、多^たく^くの^の人^{ひと}を^をひ^ひつ^つよ^よう^うと^とし^して^てい^いま^ます。ぜ^ぜひ、み^みな^なさん^{さん}に^にも介^{かい}護^ご福^ふ祉^し士^しを^を目^め指^さして^てほ^ほしい^いです。



Q1. 理学療法士ってなあに？

理学療法士はケガや病気の後い症、または高れい、障がいなどによってうまく運動ができない人々に対して、運動や温熱、電気などの方法を使って、運動能力が落ちないようにしたり改善をしたりする国家資格です。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

起き上がることやすわること、立ち上がることや歩くことなどが不自由になってしまい、トイレに行けなくなったり、着がえができなくなったりしている人の運動能力を改善して、人の手をかりずに暮らせるように手助けをしています。

Q3. どんなことがひつようなの？

その人が今どれくらい動けるかという体の状況を正確に評価し、その人に合わせたちりょう方法とプログラムを考える力。そして、その人のやる気を高めながら運動能力を改善していくぎじゅつがひつようです。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

こまっている人にしっかりと寄りそうことができるかどうかが一番大事なポイントです。体が不自由だった人が動けるようになったときに、いっしょによるこべるような人が向いています。お年寄りが多い社会の中で、理学療法士が多くの場所でもとめられています。ぜひ、みなさんにも理学療法士を目指してほしいです。



Q1. 公認心理師ってなあに？

公認心理師は、学校、病院、児童福祉施設、高れい者施設、会社などで様々な理由で心に問題をかかえている人々の心のケアをするための国家資格です。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

たとえば学校でのいじめ、お友だちや親にも言いにくい思春期のなやみ、お友だちとのケンカなどできずついた心のなやみを解決するお手つだいをします。自分に自しんがなくなったり、とても落ちこんでしまったときに、ありのままの自分を受け止めて、自分自身で元気を出していく手助けもしています。

Q3. どんないことがひつようなの？

相手の言葉や行動をしっかり受け止め、その人がかかえている課題を理解すること。そして、その人のよい部分を引き出しながらストレスに負けずになやみを軽くする方法を見つけるぎじゅつを身につけ、みんなの体と心を整えていくことがひつようです。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

自分の心や人の心に興味関心があり、言葉や行動に対して「なぜ？」の気持ちを持つ人。そして、その「なぜ？」を考えることのできる観察力のある人、相手の立場に立って考えられる人が向いています。みなさんも心の専門家を目指してみましょ。



Q1. 視能訓練士ってなあに？

視能訓練士は目の検査を専門とする国家資格です。視力検査の他にも、じつはとてまたくさん目の検査があるのです。みんなの大切な目が健康でいられるために、正しい検査ができるようがんばっています。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

目の病気を見つけるための検査、病気の様子を知るための検査、なおすことにかかわる検査などを正しく行うことで、目や見え方がよくなる手助けをします。また、どうしてもなおらない病気で見えにくくてこまっている人のために、少しでも見えやすいメガネなどがないかを考え、生活の工夫をお知らせしています。

Q3. どんないことがひつようなの？

検査を受ける小さな子どもからお年寄りまでのいろいろな人に協力してもらえるように話すことや、検査が正しくできているかをいつも考えていることがひつようです。そのための知識や観察力がかかせません。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

その人がどんな見え方をしているのか、しっかり聞かなければならないので、コミュニケーション能力と、人の話から考える想像力がひつようです。また、機械や計算がにが手でなく、こつこつと物事に取り組めるがまん強さのある人が向いています。



Q1. 言語聴覚士ってなあに？

言語聴覚士は、話すこと、聞くこと、食べること、書くこと、読むことなどの能力のうりよくに問題をかかえている人々を手助けする国家資格です。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

自分の思い通りに言葉を発することができない人や、人の話を聞くときによく聞こえなかったり、話の意味が理解りかいできない人をはじめ、水分をふくむ食事をするとむせてしまう人、文字を見ても意味がわからない人、音にすること（言葉にすること）ができない人の手助けをしています。

Q3. どんないことがひつようなの？

なぜ話せないか、読めないか、その理由を明らかにすること。その理由に対しててきかく的確なちりょうプランを組み立て、できないことをできるように改善かいぜんしていくぎじゅつがひつようです。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

話すこと、聞くこと、読むこと、書くことがむずかしい人を手助けするために、表情や動きからその人が何を言おうとしているのか、どう思っているのかを理解することのできる観察力かんさつと想像力そうぞうのある人が向いています。また、相手が何をしたいのかわからなくても、がまん強く対応たいおうできることもとてもじゅうようなポイントです。



Q1. 社会福祉士ってなあに？

社会福祉士は、暮らしやすい社会をつかっていくソーシャルワーカーという仕事をするための国家資格です。ソーシャルワーカーは平等で差別のない社会、いろいろな人が大切にされる社会をつくることを目指しています。そのために社会の新しい仕組みを提案したり、地いきの人々とともに生活のこまりごとの解決に取り組んだり、手助けのひつような人たちの相談を聞きます。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

社会福祉士の仕事内ようはとても広いです。学校でのいじめや社会の中で差別を受けている人をはじめ、仕事を失ったり、病気を持ったまま家でくらしたり、災害で家を失ったり、地いきでたよれる人がいなかったり、年をとったり障がいがあって身の回りのことが自由にできないなど、いろいろな時と場所で相談を聞きます。

Q3. どんなことがひつようなの？

人をこまらせる問題がおこるのは、社会の仕組みに問題があったり、地いきの人々のつながりが少なくなっていたり、こまっていることを相談しなかったりするからではないかと、いろいろ考えます。そのため、法律などの社会の仕組みに対する知識と、こまっている人に信頼してもらえるようなコミュニケーション力を身につけなければなりません。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

こまっている人を助けたいという気持ちがあって、人の生活や、よりよい社会に興味があって、人の気持ちを想像したり理解することのできる力と、相手に信頼されるようなコミュニケーション能力のある人が向いています。しかし社会福祉士一人ひとりだけの力では、人のこまっていることを解決したり社会をよくしたりはできません。リハビリテーションや心理、保育など他の資格を持つ人と話し合ったり、地いきの住民どうしが協力し合うのを手つだったり、役所の人々と話し合ったりするような、様々な人と協力できる力もひつようです。また社会の課題に立ち向かうため、強い意志を持つこともじゅうようです。



Q1. 保育士ってなあに？

保育士は主に0才から18才になるまでの子どものえんじょをしています。具体的には、「お父さんとお母さんが仕事をしている子ども」「障がいのある子ども」「いろいろなじじょうでお父さんやお母さんと生活できない子ども」の保育を行う国家資格です。小さな子どもや障がいのある子どもには、食事やトイレ、お昼ねなどの基本的な生活習かんを教え、3才以上の子どもたちには、遊びを通して教育を行います。

Q2. どんなこまりごとを手助けするの？

保育士は子どもたちに生活習かんを教えたり、教育をしたりすることだけでなく、両親が仕事をしている家庭や、あまりお金がない家庭、障がいのある子どもがいる家庭、外国人の家庭など、いろいろな地いきの子育て家族の手助けもしています。つまり、子育てをしている家族をささえる仕事なのです。

Q3. どんなことがひつようなの？

子どもの成長に合わせたかかわり方や保育の知識とぎじゅつがひつようです。子どもが家庭と同じようにすごすことができるための生活面の工夫などや、子どもの成長にひつようなこと、生きていく上でひつような教育内ようを考え、子どもたちが遊びを通していろいろなことが学べる環境がじゅんびできる知識とぎじゅつがひつようです。

Q4. この資格にはどんな人が向いているの？

第一に子どもが大すきなことがひつようです。また、子どもだけでなく保護者や地いきなど、いろんな人とかかわるため、人がすきであることも大切です。子どもは一人ひとりちがうので、その子ども一人ひとりに寄りそえる、子どもの成長をよろこべる、心のゆたかな人に、ぜひ保育士を目指してほしいです。

幼稚園の先生と何が違うの？

幼稚園の先生は3才から6才までの子どもたちを教育します。子どもたち一人ひとりが積極的に遊びを通して、いろいろなことを学ぶことができる環境をつくり、自分らしく生きていけるように、これからの学びの根っこを育てていきます。

おわりに

私たちが暮らす日本は今、少子高齢化や待機児童、メンタルヘルス、多文化共生など様々な課題を抱えています。複雑に絡み合ったこれらの課題に向き合い、誰もが豊かに暮らしていくことのできる未来を目指すためには各分野のプロフェッショナルが連携・協力し、これらの課題に直面している方々をはじめ社会で暮らす全ての人と共に、新たな未来を創造していくべきだと考えています。

そのために私たち大阪人間科学大学では、新しく「未来科プロジェクト」を立ち上げました。これは、本学にとどまるものではなく、対人援助の専門職の現場である病院や福祉施設をはじめ、保育所や幼稚園、小学校や中学校・高校、企業など、社会のあらゆる人々や組織がかかわって、「対人援助の明るい未来」を創造していくために起ち上げたプロジェクトです。

そしてこの「ニッポンのしゅくだいドリル」は「未来科プロジェクト」の取組として、大阪人間科学大学の学生が自分たちの学びや実践教育の中で直面した社会課題についてピックアップし、子どもたち、社会課題に直面している方々、地域社会や企業に関わる全ての人と共に、日本の課題に向き合い、考えて頂くために制作しました。

本書をご覧の皆様方のご理解の下、「ニッポンのしゅくだいドリル」をご活用いただき、明るい未来の実現に少しでも貢献できることを心より願っています。

学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学
学長 田中保和

問合せ先：大阪人間科学大学 未来科事務局
mi-ra-i-ka@kun.ohs.ac.jp





成長に、本気。
大阪人間科学大学

<https://www.ohs.ac.jp/>